

Game Report

開催場所：大津町総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 男子準決勝

試合期日：2018 年 5 月 19 日(土)

CC：野田 宏樹

試合時間：15：00～

U1：岡井 元毅

U2：飯野 聡

九州産業大学	○ 86	18	—1st—	17	● 85	福岡大学
		21	—2nd—	18		
		16	—3rd—	18		
		22	—4th—	24		
		9	—O.T—	8		

第1ピリオド

序盤、両チームとも最初の得点を狙うがなかなか決まらない。均衡を破ったのは九産大#13上良のフリースロー。しかし、その後すぐに福岡大も得点を決め返し、お互いリードを許さない。中盤、ゲームは均衡状態だったが、九産大#9米須の華麗なアシストで#47宮崎がシュートを決めると、続けて#5Jeremiahも得点。たまたま福岡大はタイムアウトを請求する。流れを断ちたい福岡大はタイムアウト後、#17丹がゴール下で奮起し果敢に攻める。互いに一進一退の攻撃が続き18-17と九産大のリードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオド

開始早々、福岡大#46今林のジャンプシュートが決まり、福岡大が逆転。しかし、九産大も相手のミスを誘いフリースローを確実に沈め、19-19と同点に詰め寄る。その後も両チーム果敢に攻め合い、リードを許さない。中盤、九産大#18大城が3Pシュートを決め、一歩リードすると少しずつ流れが九産大に。九産大#32Anthonyがゴール下で得点を決めたとところで福岡大が前半2回目のタイムアウトを請求。タイムアウト後は、福岡大#30太田、#17丹が得点し、点差を縮めていく。しかし、九産大は#58鈴木、#9米須と続けて得点し、39-35と九産大リードのまま前半を折り返す。

第3ピリオド

開始早々、九産大#32Anthonyがゴール下で立て続けに得点を決める。点差を一気に突き放された福岡大は8:30、タイムアウト請求を余儀なくされる。流れを断ちたい福岡大はタイムアウト後、#6松尾がゴール下で奮起。九産大#32Anthonyのファウルを誘い、フリースローを確実に沈める。しかし、九産大も流れを渡すまいと#9米須が3Pシュートを決め、徐々に点差を広げていく。終盤、点差を縮めたい福岡大は、#17丹を投入。#6松尾が攻守ともにリバウンドに絡み、相手のミスを誘う。その後も、福岡大が果敢に攻め、55-53で九産大リードのままゲームは最終ピリオドへ。

第4ピリオド

序盤、なんとしても点差を縮めたい福岡大は、全員でリバウンドに加勢。相手のファウルを誘い、フリースローを確実に沈め、ついに逆転に成功。流れは一気に福岡大へ。その後も福岡大#6松尾がゴール下で奮起し、着実に九産大との点差を広げていく。中盤、点差を縮めたい九産大は、果敢にシュートを放つも、ゴールに嫌われる。しかし、#47宮崎の3Pシュートが決まると、続けて#13上良も得点。徐々に福岡大に詰め寄っていく。流れをつかんだ九産大は#47宮崎の3Pシュートが光り、#13上良のシュートでついに逆転に成功。しかし、その後も両者得点を入れ合い、77-77で勝負は延長戦へもつれ込む。

○. T

先制点は、福岡大#14村上の3Pシュート。福岡大が一步リードする。しかし、九産大も#58鈴木が3Pシュートを決め返すと、続けて#47宮崎も3Pシュートを沈め、今度は九産大がリードする。その後両チーム得点を決めあい、85-85でゲームは均衡する。しかし、終盤、福岡大#6松尾のファウルにより、九産大#32Anthonyがフリースロー。なんとか1点を沈め、86-85で九産大が1点リード。そのまま九産大が守り切り、86-85で九産大が勝利を取めた。